

## 令和5年度第1回長門市公共交通協議会 議事録要旨

- 日 時：令和5年6月19日(月)13:30～15:00
- 場 所：長門市役所本庁 4階「会議室1・2」、Web
- 出席者：23名（欠席1名）別紙のとおり
- 次 第：1 会長あいさつ
- 2 議事
- (1) 令和5年度長門市公共交通協議会事業計画（案）
- (2) デマンド交通運行計画について
  - ・令和4年度デマンド交通運行実績
  - ・令和5年度デマンド交通運行計画
- (3) 令和6年度地域内フィーダ系統確保維持計画(案)の承認について
- (4) 山口宇部空港直通便運行計画（案）の承認について
- (5) その他

### 1. 会長あいさつ

### 2. 議事

- (1) 令和5年度長門市公共交通協議会事業計画（案）について 《承認》  
事務局から、資料2について説明を行った。質疑等については以下のとおり。

#### 【委員】

デマンド交通の基本的な考え方だが、当初始めた時にはバスや鉄道など公共交通機関につながるとい認識でいたがこの認識でよいか。もうひとつが、オンデマンドという案が出たが、その時間帯において空車であれば運行するという事になれば、その時間帯はタクシー業者と同じ業務になる。既存の民間タクシーとの違いがなくなるのではないか。当初のデマンド交通の在り方と今の在り方、今後の進め方の原則が分からなくなってきている。

#### 【事務局】

デマンド交通を昨年市内全域に導入したが、デマンド交通というのは基本的には自宅付近から乗り降りできて地域の中心地や駅やバス停の間を運行し、バスや鉄道につないでいくということが原則。しかし、地域によってはバスの本数が減便になっている中、地域のニーズによってデマンド交通の使い方が変化しているのも現状である。今まで市内一律でデマンド交通を導入してきたが、今後は各地域のニーズを把握するとともにバスやタクシー事業者と協議した上で検討していく。

#### 【会長】

以前はどちらかというバスや鉄道に接続する前提になっていたが、地域によって状況が違い、バスへの乗り継ぎを前提としたほうが良い地域と市内に直接入ってくるほうが良い地域があるので、その地域にとって必要ならオンデマンドを導入し、今までの形でいいのであれば今までの形で運行していくということで理解いただきたい。

また、オンデマンドタクシーは、対応が可能な事業者でかつほかの事業者からも同意がいただけるケースに限ってできるというものであり、全部の地域で一斉にオンデマンドタクシーの導入を目指しているのではないということでも理解いただきたい。

#### 【委員】

資料 2-1 のデマンド交通の充実、路線バスの再編、鉄道の利用促進この 3 つを一緒に充実していけるのか。今後どれかにしわ寄せがいくこともあると思う。それぞれのバランスが今後大事になっていくのではないか。

#### 【会長】

長門市のデマンド交通を始めたころに比べて、デマンド、バス、鉄道などいろいろな交通モードの余裕度や供給能力が少しずつ変わってきている。デマンド交通がどういう役割を果たしていくのかを考える中で、オンデマンドタクシーといった案がでてきた。今後は少しずつ鉄道・バス・デマンドの関係性も変わっていくのではないか。バス会社は運転手不足によりバスを走らせることが難しくなってきている。具体的にどういった形でというのは見えないところがあるがおそらく地域と事業者との間で協議を進めていくことになる。

こちらについてはいろいろな意見をいただいたところも含めて事務局に進めてもらい、具体案については次回以降この場で議論していくということで承認としたい。

#### (2) デマンド交通運行計画について 《承認》

- ・令和 4 年度デマンド交通運行実績
- ・令和 5 年度デマンド交通運行計画

事務局から、資料 3・4 について説明を行った。質疑等については以下のとおり。

#### 【会長】

基本的には定着してきているというのが事務局の評価である。現時点では当面はこの体制を続けていくことを考えている。

#### 【委員】

利用者からの声として、使い方がわからないといった声がある。民生委員や自治会長を通じてもう少し周知ができればいい。事業者は利用されない方に周知することはなかなかできない。徹底的に周知していけばもう少し利用者数が伸びていくのでは。

#### 【委員】

黄波戸には鉄道もバスもあるので利用者数が少ない。

#### 【事務局】

デマンド交通導入時から自治会長や民生委員に説明をしながら周知をしてきた。説明会の参加者はデマンド交通を利用しない方が多く、利用すると思われる方が説明会に参加できないという意見がある。現在は、福祉関係の会議に参加し、福祉エリア

支援員等に説明をしている。昨年度動画も作成した。時間はかかるかもしれないが、実際に利用される方の層をターゲットにして周知をしていきたい。

黄波戸方面は想定よりも伸びていない。鉄道、バスがあるので、どの時間帯であればデマンド交通の利用者が増えるのか事業者と協議していく。

#### 【委員】

今の油谷支所にはバスやデマンド交通の待合場所がない。支所の建て替えに合わせてデマンド交通の待合場所の整備が進められているので、もう少し伸びていくと思う。また、民生委員を通じて周知していくと利用者は増えると思う。

#### 【事務局】

周知していくためには民生委員の協力も不可欠となるので、集会等へ積極的に参加し、周知をしていきたい。

#### 【委員】

デマンド交通が増えれば路線バスが増えるわけではない。デマンド交通に力を入れていくのであれば路線バスが衰退していくのではないか。ある時期を見て路線を再編していく必要がある。

#### 【会長】

市街地から比較的遠方の地域では、デマンド交通からバスに乗り換えるという形で整理されている。一方で市街地に比較的近傍のところについては直接乗り入れるような形になっている。長門市地域公共交通計画の中でバス、鉄道、デマンド交通がどの役割を担っていくかはある程度整理されている。

#### 【委員】

デマンド交通の対象は大人、障害者、小学生、未就学児と分けてあるが、高齢者は出てこない。高齢者に目が向けられているかが感じられない。利用者を増やすということであれば大人300円、障がい者150円、75歳以上200円というように交通弱者と呼ばれている後期高齢者に意識を向けていくことが大事。6月30日にシニアフェスティバルが行われるが、このような行事において高齢者に対するはたらきかけができるのでは。

#### 【会長】

デマンド交通は、高齢者の移動手段の確保を意識して導入している。利用実態としては、おそらく70歳以上の方と通学生が大半を占めるのではないか。運賃に関しては、バスやタクシーとのバランス感の中で決めているところがある。高齢者を対象とした運賃施策は考えられないことではないが、財政的な部分や、そのほかの交通手段（バス、鉄道、タクシー）のことも考えていかなければならないので、かなり大きな議論になる。

**【事務局】**

高齢者に対する料金体系については、今後福祉部門との連携もしながら、デマンド交通に限らず公共交通全体で検討していく必要がある。併せて免許返納問題の対策なども考えていく必要がある。

**【会長】**

デマンドで必ずしも市内全域の方の交通手段が確保できるわけではない。主にバス利用者や鉄道利用者などそれぞれ議論し整理する必要がある。福祉のルートで呼びかけることや、それぞれ高齢者の団体にはたらきかけるなど非常に良いご提案をいただいたので今後の見直しや改善につなげていただきたい。

**(3) 令和6年度生活交通確保維持改善計画「長門市地域内フィードシステム確保維持計画(案)」の承認について 《承認》**

事務局から、資料5について説明を行った。(意見等なし)

**(4) 山口宇部空港直通便運行計画(案)の承認について 《承認》**

事務局から、資料6について説明を行った。意見等については以下のとおり。

**【委員】**

秋芳洞の乗降場所は、バス乗り場ではなくタクシー乗り場でよいか。

**【長門市】**

タクシー乗り場でよい。

**【委員】**

路線バスも秋吉と長門を結ぶ便があるが、路線バスよりも直通便を観光客に利用してもらおうというような考え方でよいか。

**【長門市】**

今回は実証運行となる。今後の路線については、需要調査を見て検討していく。需要調査の結果は運行事業者にもフィードバックしていく。

**【会長】**

今年は長門市、美祢市の補助事業ということで、観光振興策として実施するもの。実証運行の中で、長門市と美祢市をどうつないでいくのか十分検討していただきたい。

**(5) その他**

**【事務局】**

第2回の開催を9月に予定している。それまでに意見等あれば事務局までお願いしたい。以上で本日の議題はすべて終了する。